

当院で脳血管障害で入院し、脳血管内治療(カテーテル治療)を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2015年1月1日～2019年12月31日の間に、脳血管障害で入院し、脳血管内治療(カテーテル治療)を受けた方

【研究課題名】日本国内の脳神経血管内治療に関する登録研究4 (Japanese Registry of Neuroendovascular Therapy 4 [JR-NET4])

【研究責任者】国立循環器病研究センター 脳神経外科 佐藤 徹

【研究の目的】日本の脳血管内治療の実施状況、治療成績を調査する

【利用する診療情報】

年齢、性別、治療日、治療前後の日常生活自立度、診断名、疾患の詳細(例：病変がある血管の部位、脳動脈瘤や脳動静脈奇形のサイズ、閉塞・狭窄血管の部位や狭窄度、その他の血管構築)、実施した治療方法、初回または再治療、麻酔方法、治療の詳細(例：治療手技名、使用したコイル・塞栓物質・ステント、抗血栓療法、その他の治療に使用した器材や薬物)、技術的成功の有無、有害事象の有無と詳細(例：血栓塞栓症、母血管閉塞、術中破裂、術後出血、その他の合併症、合併症の原因、合併症に対して行った治療)、治療後の転帰

個別治療項目として、破裂脳動脈瘤、未破裂脳動脈瘤、脳動静脈奇形、脊髄動静脈奇形(脊髄動静脈瘻を含む)、硬膜動静脈瘻、その他の動静脈瘻(頸動脈海綿静脈洞瘻を含む)、頭頸部血管腫・奇形・腫瘍、頸部頸動脈狭窄症、頭蓋外椎骨動脈狭窄症、鎖骨下(腕頭)動脈狭窄症、頭蓋内動脈狭窄症、急性脳動脈閉塞、静脈洞血栓症、くも膜下出血後血管攣縮、その他の血管疾患(疾患情報、治療情報、合併症)が挙げられます。

【外部機関への研究データの提供】

上記の診療情報を、次の研究機関に提供して、共同で研究を進めます。

・ 主任研究者

神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科 坂井信幸

【研究期間】 研究許可日より2022年12月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 脳神経外科 担当医師 佐藤 徹
脳神経外科 担当医師 濱野 栄佳
電話 06-6170-1070(代表)